

フルチアセットメチル乳剤の除草効果と大豆の初期薬害

【1 新規大豆除草剤フルチアセットメチル乳剤（商品名：アタックショット乳剤）】

(1) 除草効果

ベンタゾン液剤（商品名：大豆バサグラン液剤ナトリウム塩）では効果が不安定なシロザに対して効果が高いです（表1）。

(2) 県の大豆奨励品種「に対する初期薬害は、縮葉、褐変、褐斑、白斑等の症状が見られ、散布量が多いほど程度は大きいですが、処理後20～30日には程度が小さくなります（図1）。

表1 フルチアセットメチル乳剤の草種別の殺草効果

処理方法	薬剤	広葉雑草							
		アメリカセンダングサ (キク科)	イヌタデ (タデ科)	ナズナ (アブラナ科)	ハコベ (ナデシコ科)	スベリヒユ (スベリヒユ科)	シロザ (ヒユ科)	エノキグサ (トウダイグサ科)	ツユクサ (ツユクサ科)
全面散布	ベンタゾン液剤	◎	◎	◎	◎	◎	△	△～×	△
	フルチアセットメチル乳剤	△	△	—	—	◎	◎	△	△

注1) ◎:効果大、○効果あり、△効果やや劣る、×効果劣る、— データ無し

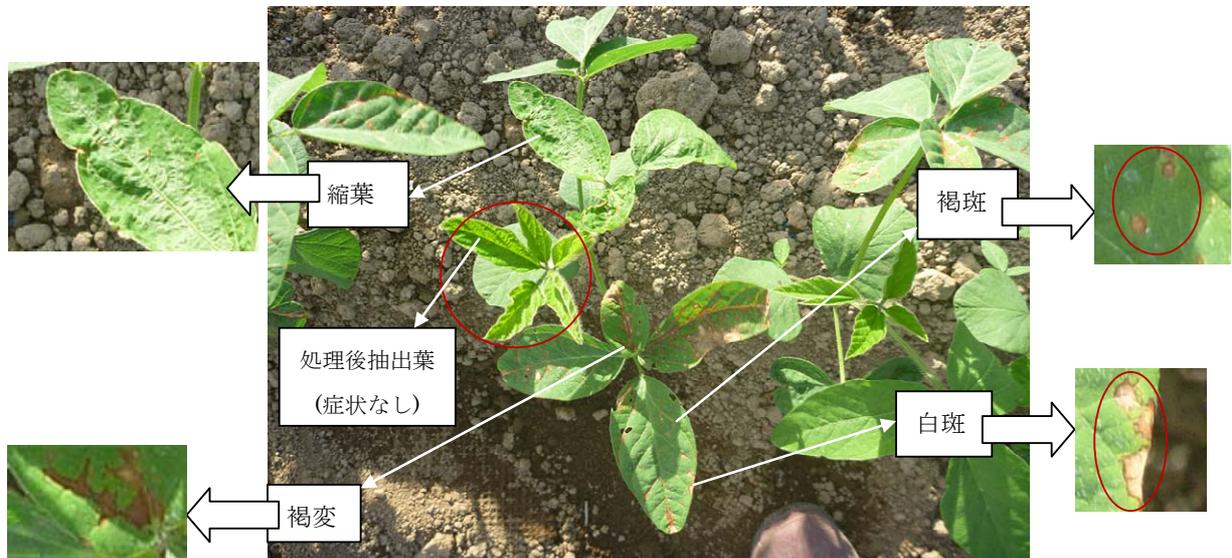


図1 フルチアセットメチル乳剤処理後の初期薬害症状（ナンブシロメ 2-4 葉期 50mL 処理、5日後）

【2 留意事項】

- 著しい生育不良時は薬害が助長される恐れがあります。また他剤との混用や展着剤の加用は薬害を助長する恐れがあります。
- ナンブシロメでは本剤の2-4葉期処理により、約8%減収する事例があります。
- 本剤の散布適期は雑草生育期（草丈10cm以下）なので、散布時期を逸さないようにしましょう。また、後発の雑草には効果がありません。
- 本剤の初期薬害程度は、温暖地に比べて寒冷地でより強いです。